

車検時はショックアブソーバ交換のチャンスです！

ショックアブソーバを交換すると、車の様々な不安定挙動（サイン）が解消できます。

- コーナリング時のロールが増加する。
- 高速道路での直進性悪（ハンドル修正が多い）
- 高速道路でのレーンチェンジでふらつく。
- ヘッドライトの光軸がユラユラする。（車体の上下動が止まらない）
- 発進時、ブレーキング時の上下動が増加する。
- 制動距離が増加する。（タイヤの接地性が悪化する）

これらのサインはショックアブソーバが正常に作動しない場合に現れる現象です。

この現象によって、あなたの運転疲労度増加や同乗者の車酔い、タイヤ接地性悪化による燃費効率の低下等、愛車の操縦安定性低下を発見する事が出来ます。

あなたがこの現象の内一つでも感じると、他のサインも発信していると考えて良いでしょう。車検実施時、これらのサインを感じたら、ショックアブソーバ交換によって解消し、ワンランク上のカーライフを手にして下さい。その為にも、車検時には下記ポイントをチェックする事が重要です。

1, 販売店（整備工場）とのコミュニケーション

愛車からのサインがあっても、大きなトラブルでない限り「車検まで我慢しよう」と考えていませんか？日頃から気になっている事をなるべく細かく販売店や整備工場へ伝えましょう。

2, 装着状態や愛車の仕様をチェックする！

ポイント1

ショックアブソーバにオイル漏れがあると車検に通りません。この場合、交換が不可欠となります。取り付け部のゴムブッシュやワッシャー類の劣化／損傷もチェックしましょう。又、車検時は走行性能に不満を感じる時期に当たり、外観上の不具合（オイル漏れ等）が無くとも、交換を推奨します。

ポイント2

車検を期に、ドレスアップや走行性能アップの為に、ハイグリップ&ロープロタイヤへ交換した場合、タイヤのグリップ増加から、ロールやピッチング等の挙動を押さえきれなくなってきました。ハイグリップ&ロープロタイヤ性能を生かしきる為に、ショックアブソーバに交換することをお奨めします。

3, タイヤチェック時に同時チェック！

タイヤのスリップサインは走行距離状況のみならず、車の走行状況にも応じています。スリップサインが出ている場合、それだけ足回りが働いたと判断出来ます。

又、タイヤを交換すると、新車時の操縦フィーリングが変わります。ワンランク上の操縦安定性を得るためにショックアブソーバ交換をお勧めします。

4, ショックアブソーバ外観チェックのポイント！

ショックアブソーバ外観上に、下記のような異変がある場合は必ず交換してください。

- ・オイルシール部からのオイル滲み、漏れがある場合
＝オイルシール破損、ピストンロッド傷が考えられます。
- ・アウターシェルに著しいへこみがある場合
＝様々な作動不良を起こします。
- ・マウント部（取り付け部）ブッシュや、ゴムが劣化。損傷している場合
＝取り付け部ガタ,異音発生の原因となります。

※詳しくは製品サポートページ「交換時の注意」をお読みください。